

## ガラス加工技術で培ったノウハウを活かした 光とエレクトロニクス技術の結晶

### 優れた気密性・耐久性のガラスキャップで 製品を影から支える「縁の下の力持ち」です

#### ガラス加工、ガラスと金属を封着するスペシャリスト

弊社の特徴は唯一無二のガラス関連技術です。真空管用ガラス製品で培ったガラス材料技術と金属・ガラスの封着技術を基に、エレクトロニクス分野に進出しました。

現在は、高品質の気密封着技術を用いたオプトエレクトロニクス事業、職人の手仕事によるガラス加工事業、様々な電子製品の基板に用いられるガラスセラミックス事業を行っております。

「企業は人なり、高い基は品質にあり、革新なくして事業なし」という山村グループの企業理念を基に、人材を大切にし、常にイノベーションに挑みながら、高品質な製品の生産に取り組んでいます。

今後は自動車の自動運転用センサーなど進化が求められる分野のニーズを取り込み、時代の変化に合わせて、弊社も一緒に成長していけたらと考えております。



ガラスと金属の気密接合(封着)技術



職人の技が光るガラス加工



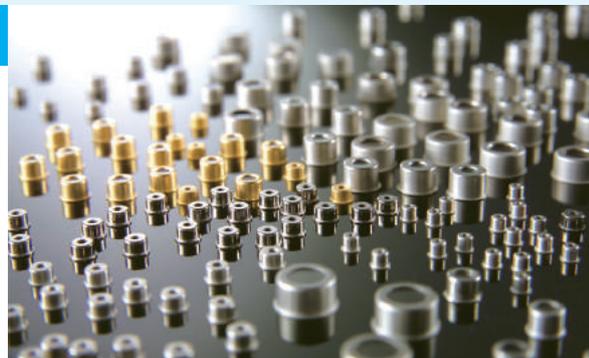
フラット、ボール、溶融、非球面、斜めにカットされたスランテッドタイプなどがあり、ご要望に合わせてカスタマイズも可能

#### 特殊ガラス加工で培ったノウハウを活かして

京浜臨海部にある横浜工場ではオプトエレクトロニクス事業を行っており、半導体レーザーのチップ保護用キャップを生産しております。

フラット型、ボール型など様々なタイプを生産しており、CD、DVDの読み取りセンサー部分や光通信における電気信号と光信号の交換ユニット内部に組み込まれています。1円玉の5分の1位小さいものもあるキャップの中には、ガラスと金属という熱によって膨らみ方が異なる素材に高气密で封着する弊社の技術ノウハウが凝縮されています。

高品質を保つために外観検査と気密性検査を行っており、検査機器も自社で開発するなど、品質には徹底的にこだわっております。



代表取締役社長 店橋 弘氏

1949年の創業以来、ものづくり企業としてここ神奈川の地で歩んで参りました。地元で生まれ育った社員も多いです。また、近隣企業様との連携も積極的に行うほか、地域の行事にも協力しています。

弊社の製品は直接皆様の目に触れる機会がありませんが、日々利用する最終製品の中に、なくてはならないものとして使われています。

ものづくりを通して皆様に愛される企業として社会に貢献できるよう、努力していきます。

#### 山村フォトニクス株式会社 横浜工場

〒221-0024 横浜市神奈川区恵比須町 7-8  
TEL 045-441-8271 FAX 045-441-6362  
<https://www.yama-ph.co.jp/>

